

イノベーションシステム整備事業
先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム
「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」
第51回 プロテオーム医療創薬研究会

【実施日】 2013年12月12日(木) 17:00~18:30

【会場】 横浜市立大学 先端医科学研究棟 5階会議室

【来場者】 約25名

【内容】

演題:「コムギ無細胞系を基盤とした膜タンパク質合成・精製および抗体作成技術と、絶対定量質量分析内部標準試料への活用」

講師: 愛媛大学・プロテオサイエンスセンター 教授 澤崎 達也

発表要旨: 本セミナーでは、コムギ無細胞タンパク質合成系を用いた、最先端のプロテオサイエンス研究について詳細なご講義をいただいた。従来法では合成や精製が困難であった膜タンパク質の合成法として、プロテオリポソーム法を用いた簡便かつ効率的な膜タンパク質精製法をご紹介いただくとともに、それらの医学・生命科学研究への活用についてご紹介いただいた。具体例として、精製膜タンパク質を抗原としたモノクローナル抗体の作製法、絶対定量質量分析内部標準資料の効率的な合成法、さらには低分子化合物の標的となるタンパク質の同定法などについて未発表のデータを交えながら詳細にご説明いただいた。講義終了後は、参加者より多くの質問が寄せられ、上記技術の医学研究への活用法や本学先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム研究の適用などについてポジティブな議論が展開された。今回のセミナーは、技術的な内容が中心であったが、本プログラム研究の発展に大いに役に立つものであり、参加者の研究意欲を大きく駆り立てた。